

## 仲間とともに歩む成長の季節

季節は初夏へと移り変わり、木々の緑が一層鮮やかさを増す頃となりました。平素より、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

4月には授業参観・PTA 総会・学級懇談会、そして5月には運動会を開催することができました。保護者・地域の皆様には、ご多用の中ご参加いただくとともに、日頃より子どもたちを温かく見守っていただいておりますこと、改めて厚く御礼申し上げます。

新年度が始まって2か月余り。子どもたちは新しい学年や学級での生活にも徐々に慣れ、学習や学校生活の様々な場面で、自分らしさを発揮し始めています。教室では友達と考えを交流しながら学び合う姿、休み時間には学年を越えて関わる姿も見られ、日々の積み重ねの中に確かな成長を感じています。

今回は、そのような子どもたちの姿の中から、特に印象に残った二つの様子をご紹介します。

一つ目は、運動会で見せてくれた子どもたちの輝きです。今年度は赤団・青団の2団に分かれ、子どもたちは競技や応援に最後まで全力で取り組みました。新調した松波小学校のポロシャツを身にまとい、鼓笛隊の演奏に合わせて堂々と入場する姿から、松波小らしい元気で一体感が感じられました。



80m走では、1年生も小学校初めての運動会とは思えないほど力いっぱい走り抜け、「ダンシング玉入れ」では低学年児童がかわいらしいダンスと元気いっぱいの競技で会場を和ませてくれました。応援合戦では、赤団・青団ともに工夫を凝らした迫力ある応援を披露し、特に人数の少ない中で団を引っ張った6年生の姿は大変頼もしく感じられました。

また、綱引きや全校リレーでは最後まで勝負の行方が分からない熱戦が繰り広げられ、保護者の皆様や教職員も参加した競技では、会場全体が笑顔と歓声に包まれました。

そして、運動会の最後を飾った5・6年生による「南中ソーラン」は、多くの人の心に残る演舞となりました。今年度末で統合となる松波中学校で長年受け継がれてきた踊りに、子どもたちは真剣に向き合い、力強い掛け声と息の合った演技を披露しました。アンコールの聲が上がるほどの熱演からは、地域の歴史や思いを大切に受け止め、自分たちなりに表現しようとする子どもたちの姿勢が伝わってきました。今年是新築工事の関係から松波中学校で実施する最後の運動会でもあり、思い出深い一日となりました。

二つ目は、あいさつの広がりや質の高まりです。本校の児童は以前から気持ちのよいあいさつができていましたが、4月の生活目標として取り組んだこともあり、さらに相手を意識した丁寧なあいさつが増えてきました。「〇〇先生、おはようございます!」と名前を添えて声をかける児童の姿も多く見られ、毎朝の玄関や廊下には、明るく温かな空気が広がっています。

1学期も残り1か月半余りとなりました。これからも、子どもたち一人一人が安心して学び、自分のよさを伸ばしていける学校づくりに努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

校長 宮本 秀人